

夏のクマに注意！

夏はクマが里地に最も近づく季節です

○ 山の食べ物が少なくなります

夏は、山の中でツキノワグマの食べ物が少なくなるため、人里近くに出没し、人身被害のリスクが高まったり、農作物へ被害を与えたりすることがあります。

○ 若いクマが親離れする時期になり、里地に近づく恐れがあります

夏は1～2歳の子グマが母グマと別れて暮らし始めます。若いクマは人への警戒心が薄く、生活域を求めて里地へ出没する危険性が高まります。

○ クマの交尾期にあたり、特にオスの行動範囲が広がります

6～8月頃にかけて、オスがメスを探すために広い範囲を行動します。

クマと遭遇しないよう次のことに注意してください

◆ 里地にクマを寄せ付けない対策を

- ・ 畑や果樹園等の周囲には、電気柵を設置したり、周辺のヤブをあらかじめ刈り払うなど、クマを寄せ付けない対策をとりましょう。
- ・ 生ゴミは、クマにとって栄養価の高い食べ物です。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、人に見つかることを恐れなくなるなど、人身事故の可能性が高まります。長時間屋外に放置しない等、適切に管理をしてください。

（クマが誘引される物：漬物、廃油、油性塗料、燃料 等）

◆ 山およびその付近での対策

朝夕の行動は避け、複数人で行動する

- ・ 朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に山中に入ることは避けましょう。また1人ではなく複数人で行動しましょう。

クマ鈴、ラジオ、笛などを携帯する

- ・ クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。クマ鈴、ラジオ、笛など音の出る物を鳴らしながら、クマに人の存在を知らせる対策をしましょう。
- ・ 釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがありますので注意が必要です。
- ・ クマ鈴等は万能ではありません。過信せず、周辺の気配に注意しましょう。

クマのいる場所に近づかない

- ・ 山中はクマの生息地で、どこにいてもおかしくありません。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

子グマを見たら立ち去る

- ・ 子グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマを守るために、人へ攻撃することがあります。子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう。